

2021. 10. 24



↑ 聖日 礼拝

前11時

(司会)

加山真路牧師

高殿成子姉

奏楽

詩編23編6節

招美歌 四九三(2節のみ)

主の祈り 九三(5A)

交誦詩編 一三八

使徒信条 九三(4の1A)

讚美歌 二八

祈禱

ローマの信徒への手紙9章19〜26節

讚美歌 四三〇

「怒りの器から憐れみの器へ」

関戸直子神学生

祈禱

五 一六

讚美歌

二七

祝美歌

練習讚美歌 四九三(1節)

報告

§ 今週の集会

日曜学校 24日前9時

祈禱会 27水後7時(佐藤牧師)

埋葬式(杉本純子) 29金後2時(教会墓所)

◆ 今日のお花のご奉仕は、熊野順子姉です。

\* 今週の会堂掃除

今日の会堂掃除(2・3F礼拝堂のみ)

礼拝後、有志でお願いします。どうぞよろしく  
お願いいたします。

※ 1Fホールと多目的室は使用した  
グループで、トイレは週末に有志で。

∧ 礼拝当番 ∨ (オンラインでは割愛)

※ 緊急事態宣言は解除されましたが、11月14日(日)まで、「レベル4オンライン礼拝にあずかれる方も出席可」の「分散礼拝を継続します。24日(日)は(公員名簿の)「神奈川区・東京」「埼玉・千葉他」の方々です。

ただ、該当する地区以外で、神学生の応援と祝福のために出席したい方がいらしたら、どうぞお申し出ください。コロナ対応のため、出席予定者数を把握しておくためです。

また、この日の礼拝後は、讚美歌練習に引き続き、短い時間ですが、神学生の挨拶と東京聖書学校の紹介をしていただきます。せっかくの機会ですので、この様子もオンラインで配信いたします。

〒 今日の説教者 † 関戸直子神学生

今回初めて神学生の説教奉仕をお願いした、東京聖書学校(埼玉県吉川市)の4年生。お生まれは長野県上田市で、出身教会は、詩人の水野源三さんゆかりの「日本基督教団坂城栄光教会」です。お子さんは3人

(男2人、女1人)で、お孫さんは7人です(2月には8人目が生まれる予定)。ご夫君は長野で一人暮らし中ということ。趣味は子どもと遊ぶこと、絵を描くこと、歌を歌うこと。そしてご飯をつくってみんなにぎやかに食べることが大好きだそうです。今日のご奉仕を感謝します。

\* 個人消息 (オンラインでは割愛)

加山真路牧師 25日(月)、青山学院大学相模原キャンパスのチャペル礼拝で、説教奉仕をされます。

\* 予告 永眠者合同記念会

11月7日(日)午後1時半からです。申し込みは今日31日(日)までですが、先週お配りした申し込み用紙に、コロナ対応を考えた趣旨や申し込み方法について書かれていますので、どうぞよくお読みください。当日の礼拝も、ライブ中継および録画配信を予定

していただきますので、くれぐれも「無理なきよう」。

\* 「教勢の統計―私たちの歩み(11)」

5年に1度発行される統計が発行されました。半世紀以上にわたる統計を通して、「教会の今」、そして「次代」を考えるための大切なヒントがたくさん隠れています。とくに今回は、「2020年度Ⅱコロナ禍の一年」をどう読み解くかがポイント！ さまざまな数字に秘められた「喜び」の種。その1つ1つが、教会の元気の素になっていくことでしょう。

31日(日)までは、教会にいらした際に受け取っていただき、それ以外の方には郵送します。

1家庭につき1冊ずつ用意していますが、予備も十分にありますので、2冊目以降も自由に持ちください。郵送で複数部ご希望の方は、教会にお申し出ください。

\* クリスマス委員会から

「クリスマスの飾り付け」

11月23日火曜日(祝) 10時よりクリスマスの飾り付けを行います。

リースの作成などお手伝いいただける方は入り口掲示板のポスターにご記名ください。三密にならないよう気をつけながら、できるだけ短い時間で作業を行なっていきます。

\* 「(みんなの交わり) シャローム」

「クリスマス間安カード」のお願い

「コロナ禍だからこそ、お互いへの思いを深くしたい」

—そんな思いをこめて、「シャローム」ならではのこの行事を、今まで以上に充実させていきたいと願って、今年も協力していただける方を募集中。お申し出の締め切りは、11月7日(日)。詳しいことは、先週お配りした別紙をご覧ください。

\* 日曜学校『カードサンタ』のお願い

日曜学校のクリスマスプレゼントも、やはり「言葉の贈り物」です。また今年も、コロナ禍のために、降誕日礼拝後に中高科祝会が持てませんので、中高生にも「言葉の贈り物」を届けたいと思います。カード総数が増えますので、ぜひ「言葉のサンタ」になつてください。初めての方、大歓迎です。経験者は、(余裕があれば)ぜひ枚数を増やしてください。もちろん一枚でもかまいません。

なお、こちらの申し出締め切りは、10月31日(日)となります。何かおわかりにならないことがあれば、日曜学校教師まで、気軽にお問い合わせください。

◆ 寿地区センター「冬の炊き出し&バザー」と

教区海員宣教活動のために献品を！

新型コロナウイルスの感染者は減つて来ているものの、まだまだ油断はできません。そのような状況の中、厳しい冬を迎えようとしている方々に、今、必要なものを届けたいと願い、多くの方のご協力を頂けると幸いです。また、献金の協力も頂きたく、合わせ

てお願いいたします。募金箱は、今年も事務室ドアを入って左側印刷機の上に置きますので、自由にお入れください。

① 寿地区センターの「冬の炊き出し・バザー」

- ・炊き出し用食料品(米、調味料各種)
- ・バザー用(男性用靴下、不織布マスク)
- ・期間 10月31日(日)～12月8日(水) 午前中
- ・仕分け・梱包 8日午後1時～
- 花壇の係り 「ひつじぐさ」他有志

② 併せて、加山牧師が関わる教区海員宣教協力委員会が呼びかけている海員(船員)のためのクリスマスプレゼントも募っています。このコロナ禍で、いつも以上に寂しい思いを募らせている船員が多いので、とても喜ばれるそうです。

♪ 詳細は掲示板をご覧ください ♪

隔週教師を支える百円献金

いつでもお受けしています。



19 ところで、あなたは言うでしょう。「ではなぜ、神はなおも人を責められるのだろうか。だれが神の御心に逆らうことができようか」と。

20 人よ、神に口答えするとは、あなたは何者か。造られた物が造った者に、「どうしてわたしをこのように造ったのか」と言えるでしょうか。

21 焼き物師は同じ粘土から、一つを貴いことに用いる器に、一つを貴くないことに用いる器に造る権限があるのではないか。

22 神はその怒りを示し、その力を知らせようとしておられたが、怒りの器として滅びることになっていた者たちを寛大な心で耐え忍ばれたとすれば、

23 それも、憐れみの器として栄光を与えよう

と準備しておられた者たちに、御自分の豊かな栄光をお示しになるためであったとすれば、どうでしょう。

24 神はわたしたちを憐れみの器として、ユダヤ人からだけでなく、異邦人の中からも召し出してくださいました。

25 ホセアの書にも、次のように述べられています。

「わたしは、自分の民でない者をわたしの民と呼び、

愛されなかった者を愛された者と呼ぶ。

26 『あなたたちは、わたしの民ではない』

と言われたその場所で、

彼らは生ける神の子らと呼ばれる。」

〒221-

0802

横浜市神奈川区六角橋一の二六の八

○四五(四三二)〇六九四

FAX(四三二)〇一九四

郵便振替口座00250・2・979

日本基督教団 六角橋教会